大龍小学校 令和4年度鹿児島学習定着度調査結果（対象：5年生）

本校における標記の調査の結果及び今後の対策です。今回の結果から見えた課題について，対策を講じ，今後に生かしていきます。

＜実施日及び実施人数＞

1月17日（火）：国語・理科　　1月18日（水）：社会・算数

本校の各教科の全体通過率（%）

	本校	県	県との差
国語	**73.5**	70.9	+2.6
社会	**86.6**	77.5	+9.1
算数	**72.8**	67.4	+5.4
理科	**72**	71.6	+0.4

「基礎・基本」「思考・表現」ごとの通過率

	基礎・基本	思考・表現
国語	80.7%	65.5%
社会	89.4%	80.9%
算数	74.4%	70.1%
理科	74.7%	68.7%

〈課題とされる領域，項目〉

【国語】中心となる言葉や文を見つけること，事例との関係，目的に応じて資料を活用し，自分の考えが伝わるように表現を工夫する等の文章表現，敬体と常体の違い等の「話すこと・聞くこと」

【社会】工業生産の工夫

【算数】四則計算，図形の性質

【理科】物のあたたまり方，植物の発芽と成長，電気の働き，物のとけ方

〈全体的な課題〉

全体的な通過率は7割を超えており，これまでの取組の成果が表れていると考えられる。しかし，全教科を通して「思考・表現」の問題に関しては，文章と図，表，グラフ，資料等を関連付けたり，根拠を基にして自分の考えを記述したりする問題については，取得した知識・技能を話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることに苦手意識をもっている児童が多い傾向がある。

〈課題解決のための対策〉

【国語】

・目的や意図に応じて，決められた文字数で書く学習を取り入れる。

・筆者の考えとそれを支える理由や事例の関係性を明確にしながら，文意を捉える活動を取り入れる。

【社会】

・特徴や背景，原因等を思考し，説明する活動を取り入れる。

【算数】

・計算ドリルに取り組んだり，計算力テストを実施したりして，基本的な計算技能の定着を図る。

・図形の学習では，実際に描いたり，切り取って重ねたりして図形の性質について体験的に理解できるようにする。

【理科】

・予想，観察，実験，結果，考察などを文章で適切にまとめる時間を設定する。

・単元末等で，学習内容の定着を図る時間を設定する。